

健康推進部

組織目標



健康推進部は、健康管理課・地域保健課・スポーツ推進課・国保医療課・介護保険課で構成し、保健・医療・福祉・介護・スポーツ振興の一体的推進に関する施策に取り組んでいます。

健康推進部の目標（令和4年度）	健康推進部長 岸 道 博
【部の基本方向】 「誰もが、住み慣れた地域で、保健・医療・福祉・健康づくりなどの様々な支援を受けながら、尊厳をもって自分らしい生活を送りたい」という「地域包括ケア」の理念を追求し、「みんなでつくる住みやすさが実感できるまち いるま」を目指します。	
【部の重点方針】 - 生活習慣病予防や疾病の早期発見、治療に資するため、各種健康診査及び保健指導の充実を図ります。 - 健康寿命の延伸に向け、第3次健康いるま21計画に基づく健康づくり事業の推進を図ります。 - 生涯スポーツを推進するため、学校、地域及び団体等との連携によるスポーツ・レクリエーション事業の充実を図ります。 - 国民健康保険の運営の安定化に努めるとともに、国民健康保険第2期データヘルス計画に基づく保健事業の実施により医療費適正化を図ります。 - 第8期介護保険事業計画に基づき、介護保険制度の適正な運営に努めるとともに質の高い介護サービスを利用できる環境づくりを進めます。 - 市民生活の安全、安心を確保するため、新型コロナウイルスワクチン接種に適切に取り組めます。	
【課の目標（達成すべき目標）】 【健康管理課】  - 病気の早期発見、早期治療に資するため、各種がん検診を実施し、受診率の向上に努めます。 また、前年度から開始した胃がん検診の内視鏡検査の受診枠を増やし、検診事業の充実を図ります。 ・目標値：受診率 10%～25% - 生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの方を対象に特定健康診査を実施します。 ・目標値：受診率 57%	【目標の達成度合】 - 受診率向上の取組として対象者のうち節目年齢の方に年2回、ハガキによる受診勧奨を実施しました。また、胃がん検診の内視鏡検査の受診枠を増やした結果、前年度より受診者数が増加しましたが、がん健診全体としては目標値には達しませんでした。 ・受診率 5.80%～21.33% - 受診率向上の取組として対象者に年2回、ハガキによる受診勧奨を実施した結果、前年度より受診率は向上しましたが、目標値には達しませんでした。 ・受診率 39.4%（未確定値）

【地域保健課】



- 3 専門職による地域診断を継続するとともに、診断結果を地域に還元し、課題解決のための取組を実施します。

・目標値：全地区（6地区）での取組の実施

- 4 新型コロナウイルスワクチン接種を国の方針に従い、速やかに実施できるよう体制を整備し、安全で正確な接種を進めます。



【スポーツ推進課】

- 5 市民の健康づくりや体力の向上を図るため、健康スタンプラリーや市民ゴルフ大会のほか各種教室などを開催し、市民が気軽に運動やスポーツに親しめる機会を提供します。

・目標値：健康スタンプラリー参加者 1,800人

【国保医療課】



- 6 高額療養費の支給申請について、窓口での申請手続きの負担を軽減するため、簡素化を進めます。



【介護保険課】

- 7 市に指導・監督権限がある市内介護サービス事業所に対する実地指導を行い、介護サービスの適正化に努めます。

・目標値：10事業所に対し実施



- 3 課題解決のための取組として、企業や学校と連携し、地区ごとの健康課題に応じた、こころの健康や生活習慣病予防に関する普及啓発を実施しました。

・実施地区 全地区（6地区）

- 4 国の方針に基づき、入間地区医師会等の協力のもと、乳幼児、小児、12歳以上の方を対象にした初回接種及び追加接種の体制を迅速に整備し、安全で正確な接種を着実に進めました。

- 5 新型コロナウイルス感染症対策を引き続き講じながら、コロナ禍以前の水準に向けて様々な事業を再開し、市民がスポーツに親しめる環境の整備に努めました。

・健康スタンプラリー参加者数 369人

・開催した主なイベント

市民ゴルフ大会、駅伝競走大会、陸上競技大会、彩の森クロスカントリー大会、健康体力測定、スポーツクライミング体験教室等

- 6 令和4年10月審査分の高額療養費から、窓口での申請手続きを簡素化したことにより、市民サービスの向上及び窓口事務の効率化を図ることができました。

- 7 居宅介護支援事業所5箇所、地域密着型通所事業所3箇所及びその他事業所3箇所の合計11事業所に対して実地指導を行い、介護サービスの適正化に努めました。